

ひと・とち・みらい・は—もに—



土地家屋調査士

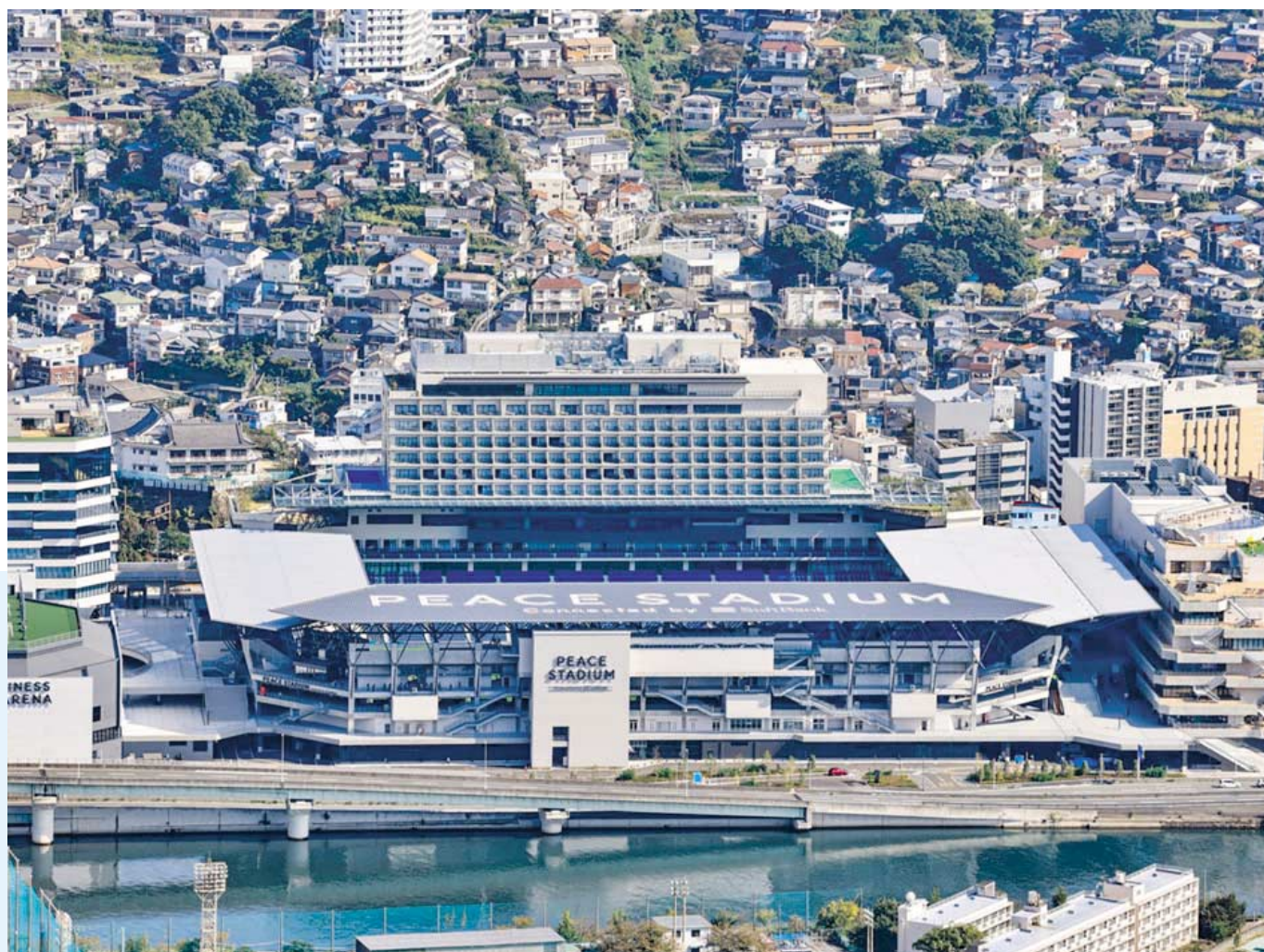
Kaihou Nagasaki/2025.3

第 **79** 号

(令和7年3月発行)

会報

ながさき



長崎県土地家屋調査士会

土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙写真の説明

長崎スタジアムシティ

長崎スタジアムシティは、長崎県長崎市幸町にあるスタジアム・アリーナ・商業施設等を中心とした都市再開発地区。

ジャパネットホールディングスが主導する認定民間都市再生事業計画「長崎スタジアムシティプロジェクト」により整備され、2024年10月に開業した。

サッカー専用スタジアム「PEACE STADIUM Connected by SoftBank」、スタジアム直結のホテル「STADIUM CITY HOTEL NAGASAKI」、多目的アリーナ「HAPPINESS ARENA」、オフィス棟「STADIUM CITY NORTH」、ショッピングモール「STADIUM CITY SOUTH」および立体駐車場棟を備え、多数のテナントが入居する。開業時点ではスタジアムシティ全体で長崎初出店の店舗も多く出店しています。

目 次

○会長挨拶	2	会長	山 口 賢 一
○各支部より			
長崎市立北陽小学校での出前授業	3	長崎支部	中 村 洋 介
大村支部紹介	5	大村支部	平 野 旅 人
諫早支部事業の報告	6	諫早支部	山 崎 一 弘
島原支部便り	7	島原支部	横 田 耕 司
鹿町工業高等学校出前授業	9	佐世保支部	杉 山 和 宏
平戸支部紹介	12	平戸支部	末 永 彰
五島支部紹介	13	五島支部	赤 窄 渡
対馬の紹介	14	対馬支部長	八重島 弘
○本会活動報告			
ラブフェス2024出展	16	広報部長	竹 永 智 彦
長崎新聞2025年新年号／トップインタビュー	21	会長	山 口 賢 一
「軍艦大作戦」測定協力	22	副会長	初 柴 穰
令和6年度親睦旅行 in 大阪	24	財務部長	秋 寄 喜多郎
金融機関との研修会	27	社会事業部長兼センター長	本 多 史 典
長崎工業高等学校出前授業	29	広報部	中 野 亮
○調停人その後	31	社会事業部長兼センター長	本 多 史 典
○軍艦島について	33	広報部長	竹 永 智 彦
○土地家屋調査士会に入会して	44	諫早支部	尾 上 健 太
	45	佐世保支部	井 村 卓 司
○編集後記	46	広報部次長	本 田 将 之



会 長 挨拶

長崎県土地家屋調査士会 会長 山 口 賢 一

会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本会の会務運営にご理解・ご協力賜り、誠にありがとうございます。

令和6年度も、まもなく終わりを告げる季節となりました。会長の職を拝命し、2年が経過しようとしています。これまで、大過なく務めることができましたのは、会員のご支援があればこそと、深く感じております。心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害や猛暑、物価高騰、エネルギー問題等、私たちを取り巻く環境は依然厳しいものでした。

一方、長崎においては、明るい話題に触れる機会もありました。100年に一度の変革期といわれる長崎市では、昨年10月に開業した「長崎スタジアムシティ」の開業。県内各地がロケ地となった永野芽郁さん主演のドラマ「君が心をくれたから」。年末にかけては、軍艦島（端島）を舞台とした「海に眠るダイヤモンド」が放映され、観光都市として改めて注目を浴びることになりました。

業界においては、相続登記の申請義務化により、国民の不動産登記制度への注目はこれまでにない程に高まったのではないのでしょうか。相続登記の義務化や相続土地国庫帰属制度に関連した依頼や相談が増えた

という声も耳にします。土地家屋調査士制度を取り巻く環境も変化の渦中にあります。本会も日調連をはじめ、関係団体と強く連携し、社会の期待に応える資格者であり続けられるよう活動してまいります。

昨年11月、本会の恒例行事となっています「ラブフェス2024」に出展しました。今回も長崎地方法務局のご協力をいただき、2日間法務局職員の方々とPR活動を行いました。本会の活動にご理解いただきました、長崎地方法務局中嶋局長をはじめ、職員の皆様に改めて感謝申し上げます。詳細は本誌をご覧ください。

また、「海に眠るダイヤモンド」をきっかけに、広報部が軍艦島の登記情報の考察を行なっています。皆さん興味がある分野だと思いますので、こちらもぜひご一読ください。

昨年の総会でご承認いただきました事業につきましては、各部とも最終のとりまとめを行なっています。5月22日(木)開催予定の定時総会（長崎市）においてご報告し、ご審議いただきたいと思いますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

最後に、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

● 各 支 部 よ り ●



長崎市立北陽小学校での出前授業

長崎支部長 中 村 洋 介

日時：令和6年12月4日(水)

10:30~11:30

場所：長崎市立北陽小学校

担当：長崎県土地家屋調査士会 長崎支部
司会・進行：担任 初柴真紀先生

講師：松尾剛会員、釘本正紀会員、
大塚進作会員

令和6年12月4日(水)に長崎市立北陽小学校にて6年生を対象に長崎支部による出前授業が実施されました。以下、ご報告いたします。

①講師紹介（担任の初柴真紀先生より）と自己紹介

長崎支部より松尾剛会員、釘本正紀会員、大塚進作会員の自己紹介。



②測量の今昔

③測量調査のはじまり

スライド、伊能図を使用し、伊能忠敬が江戸時代当時に実施していた測量法などの説明がありました。

次に豊臣秀吉の太閤検地による土地と年貢の関係、明治時代の地租改正による測量調査の講義がありました。



④現代の土地家屋調査士の一日の仕事

日本土地家屋調査士連合会が作成した土地家屋調査士についてのアニメーションを使用し、松尾剛会員、釘本正紀会員が土地家屋調査士の仕事についての講義をしました。



⑤測量体験

松尾剛会員、釘本正紀会員による光波測距儀を使用した測量体験を実施しました。

待機時間は土地家屋調査士の漫画冊子を読んでもらいました。



⑥児童による質問

講義を終えて児童から質問がありました。
なぜ土地家屋調査士を目指したのか？

土地家屋調査士の業務でつらいことはなにか？

などの質問に松尾剛会員、釘本正紀会員が答えました。

⑦講義まとめ

担任の初柴真紀先生から講義のまとめがあり、児童を代表した2名から感謝の言葉がありました。

【出前授業のまとめ】

講義前は小学生には馴染みが少ない土地家屋調査士としての仕事を理解してもらえるか不安がありました。

しかし、長崎市立北陽小学校は児童の将来の仕事に対する視野を広げることを大事にしていると事前に担任の初柴真紀先生より聞いていたとおり、児童さんも熱心に講義を聞き、積極的に質問をしてくれるなど関心をもってもらった印象です。

また、講義の感想文も児童さんより頂戴し、とても有意義な経験となりました。



大 村 支 部 紹 介

大村支部長 平 野 旅 人

大村支部の紹介をさせていただきます。

大村支部は、大村市内に事務所を構える調査士個人9、法人1の会員で構成されており、役員は、支部長1名、副支部長兼会計1名、監事2名と小規模な支部です。

支部の主な行事は、毎年4月の支部総会、7・8月頃の司法書士会大村支部との合同納涼会、年1・2回程度開催します公共嘱託登記土地家屋調査士協会大村地区との合同の研修会を行っております。

会員が少ないためまとまりがある支部と思いますが、年齢層が高く、役員のなり手が少なく、役員の選任に苦慮しております。

大村市は、空港、高速道路のインター2か所、新幹線駅と交通のアクセスに恵まれ、人口も10万人に迫ろうとしております。

これといった観光スポットが無いのが、悩ましいところですが、海に山に囲まれた穏やかな土地です。遊びにいらして下さい。



大村公園（大村藩の居住跡）



天正遣欧少年使節顕彰之像



諫早支部事業の報告

諫早支部長 山崎 一 弘

諫早市に「灯りファンタジア実行委員会」という組織があり毎年年末に市役所前の広場に盛大にイルミネーションを点灯しています。その初日にイベントがあり地上絵がメインになっております。令和元年より当支部に協力要請があり、令和6年も11月30日に早朝より通算5回目の復元測量を4班で実施しました。

委員会から提供されたデザインを読取って座標化して現地に復元する作業で、釘を打込みテープで結んでいきます。復元する座標は1000～1300ぐらいになります。座標化する作業を当初は本田会員、令和5年より早田会員が担当していますが相当の時間を費やすそうです。現地に復元する作業も重労働で年々会員の参加が減少していたのでボランティアの協力をお願いしたところ

市職員5名の参加があり、又会員も18名の参加があり例年よりスムーズにいきました。地上絵の下地が出来上がり、ボランティアの方により約1万個の灯明が設置され完成となります。

午後6時に点灯されてその日は市役所9階が解放されイルミネーションと灯明が作り出す幻想的な空間を多くの家族連れが楽しんでいました。このことは今回もNHKの全国ニュース等や新聞にも取り上げられており啓発活動として一定の効果はありました。土地家屋調査士の関与が実行委員会のホームページに搭載されていますが、今後も協力依頼があった場合もっと市民に土地家屋調査士の関与をPRすることが課題です。



復元測量



地上絵



島 原 支 部 便 り

島原支部 横 田 耕 司

島原支部は島原市の会員6名、南島原市の会員6名、計12名で構成しています。

今回は、島原市の横田耕司会員のご活動についてご紹介いたします。

土地家屋調査士から広がる地域貢献

現在、私は土地家屋調査士業と無人航空機（ドローン）のスクールを営んでおります。土地家屋調査士業は開業し30年、ドローンスクールは7年目になります。

ドローンに興味を持ったきっかけは、雲仙普賢岳の災害で全国の皆様からの義援金やボランティアでお世話になったこともあり、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震のボランティアに積極的に参加させてもらいました。

災害地で、道路などが切断され、陸の孤島となった民家があったり、物流が上手くいかなかったり、そんな時、物流にヘリコプターの必要性を感じ、ドローンで物流の解決ができると思ったのがきっかけになります。

また、災害地の現況をUAV測量によりドローンで3Dで表現でき、被災地の状況が把握できると思ったのもあります。

早速、ドローンスクールへ資格を取得しに行き、それからドローンでのUAV測量

を勉強したり、撮影、点検、農業と、いろいろ利用する中で、ドローンの魅力にはまってしまいました。

ドローンは町中よりも島原のような田舎が向いており、ドローンの魅力を若者に広げていきたいと、ドローン操縦を学べるスクールを2018年に開講しました。

2023年12月にドローン資格も国家資格になり、国土交通省登録講習機関に認定され、国家資格（一等・二等無人航空機操縦士）を取得できるスクールになりました。

最近では、建設業、消防、カメラマン、農業、測量、保険等、いろいろな業種の方が、いろいろな場所から講習に来て頂いております。

また、高校でもドローンは注目され、ドローンの講習を地元の島原工業高校や島原商業高校、島原農業高校で毎年、座学や実技の講座を取りいれてくださっております。生徒たちも、すごく楽しんで授業を受けてくれます。

とくに工業高校では、実際にドローンで高校の敷地を測量し、3Dに点群処理したりして、土地家屋調査士業や測量業にも興味を持ってくれる生徒も出てきたりしています。

また、警察署などで講演をしたり、市と災害協定を結んだり、地域との関りも増え

てきました。

私自身も、土地家屋調査士業とドローン事業は相性が良く、未来のことをワクワク考えるようになりました。



島原雲仙ドローンスクールHP



球磨川氾濫時、国土交通省の
依頼で災害地をドローンで調査



南島原市と災害時における
無人航空機の支援協力協定締結

今後も、土地家屋調査士業とドローンの魅力を伝え、地域に貢献していこうと思っております。



警察署との合同訓練



高校ドローン講座



高校実技講習



鹿町工業高等学校出前授業

佐世保支部長 杉 山 和 宏

事業名：鹿町工業高等学校への出前授業

日 時：令和6年11月14日(木)

午前10時55分から午後3時20分

場 所：鹿町工業高等学校敷地内

出席者：杉山和宏、前川賢一、金子敬史、
田口博之、原口健吾、竹永智彦、
宇土郁哉、
中野亮（本会広報部より出席）
竹崎（大西土地家屋調査士事務所補助者）、
大瀬（土地家屋調査士法人TST補助者）、
永石（小川土地家屋調査士事務所補助者）
（敬称略）

鹿町工業高等学校土木技術科2年生（25名）を対象に出前授業を実施しました。

講師として、佐世保支部から支部役員4名、原口健吾会員、竹永智彦会員、宇土郁哉会員、竹崎さん（大西土地家屋調査士事務所補助者）、大瀬さん（土地家屋調査士法人TST補助者）、永石さん（小川土地家屋調査士事務所補助者）、本会広報部より中野亮会員の計11名が参加しました。

出前授業は3時限目から6時限目を使って行われ、その内容は以下のとおりです。

●3時限目（50分）…座学

最初の講義は、「土地家屋調査士」とはどのような資格なのか、一般的に知名度の高い国家資格と比較しながら、その業務内容や試験内容について説明するところからスタートしました。

その後、日調連作成動画「境界をさがせ～3人の土地家屋調査士～」(YouTube)から、実際の土地家屋調査士の具体的な日常業務について紹介させていただきました。

例年の出前授業と同様、YouTube動画を取り入れましたが、映像を通して見てもらうことでより分かりやすく、初めて土地家屋調査士を知った生徒にも興味を持ってもらえたのではないかと思います。

動画の後には、次の授業内容となる外業について、具体的な内容説明を行いました。

昨年の外業実習の際、視通が利かない等の支障が生じたことから、事前準備にて外業実習の対象となる学校敷地の確認と外業内容の一部見直しを行い、外業実習を行う2時限の時間をフルに楽しんでもらえるよう準備を行いました。

●4～5時限目（各50分 計100分）

…外業（測量実習）

外業現場には、あらかじめ当支部役員にて学校敷地内に16箇所（E区画、F区画、

各 8 箇所ずつ) の金属鉚を設置しており、これを筆界点とみなして、5 班に分かれ、後視点と筆界点との夾角、器械点から筆界点までの距離を記載した引照点表に基づき復元作業を行ってもらいました。

今年は上記の内容に加え、各班、ランダムに設置した追加 6 点を復元にて探してもらう作業を加えました。

生徒たちは最初こそ慎重な作業ぶりでしたが、時間の経過とともに内容を理解しコツを掴んだことで、スムーズな作業が行えるようになりました。

この外業を通じて、生徒たちは測量を楽しんで学べたのではないかと感じました。

● 6 時限目…屋内実習

外業後、教室にて座標求積計算を行いました。

通常の授業内容でも学習したことのある内容であるため、生徒たちの取り組みも早く、正解までたどり着く生徒も多く見られました。

この後は、現在、土地家屋調査士事務所で働く鹿町工業 O B や補助者、土地家屋調査士から、土地家屋調査士事務所に入ったきっかけや就職活動の際のアドバイス、実社会に出て思うことなど、後輩に対しメッセージを送ってもらいました。

鹿町工業を卒業し、実際に働く先輩の話



は、就職活動を控える生徒たちにとって非常に参考になったものと思います。

また、私たちが聞いていても、講師として話をする補助者や土地家屋調査士の話は、大変興味深く勉強になるものであったと思います。



この出前授業を通じ、生徒たちがいろいろなことに視野を広げ、その中で「土地家屋調査士」という資格に興味をもち、この資格取得を目指してもらえるきっかけになればと思います。





平戸支部紹介

平戸支部長 末 永 彰

我々平戸支部は、平戸地区2名、田平地区2名、生月地区1名、松浦市1名の計6名という少人数の支部です。

年齢層は、ハイクラス3名、ミドルクラス3名の絶妙なバランスで構成されておりハイクラスの御言葉で進む方向が決まるような昭和的な団結力で日々の業務に取り組んでいます。

支部活動は少人数ということもあり、あまり積極的に活動できていないことが現実ですが、以前は北松農業高校への出前授業を行っていました。

平戸支部は2本の大橋で陸続きとなっておりますが会議や研修会の参加には移動に時間を要することを必須となり、研修会のWeb配信には非常に助かっており、システムを導入していただいた役員の皆様に感謝申し上げます。

現在、平戸市は隆乃若関（生月町出身）以来となる平戸海関（紐差町出身）の活躍により大相撲での盛りあがりを見せております。平戸支部会員も平戸海関にあやかって元気に！力強く！誠実に！を志として業務に取り組んでまいります。



平戸島にかかる平戸大橋



松浦市の火力発電所



平戸の入り口：田平町



生月島にかかる生月大橋



五 島 支 部 紹 介

五島支部長 赤 窄 渡

五島支部は、上五島地区（佐世保支局）と下五島地区（五島支局）からなり、現在上五島地区には、3人の会員が、また下五島地区には8人の会員と1法人が事務所を構えており、他支部にはあまり見られないような2箇所の法務局に登記申請するという構図で形成されています。

支部会員数としては、調査士11人＋1法人で構成されていますが、その中で65歳～75歳が7人と高齢化しており、また支部が二地区で構成されていることなどの事情から支部の運営及び役員選任等にも苦慮しているのが現状です。

さて、五島列島は、近年観光地としても注目されており、また釣り好きな人達には以前から人気のあるスポットです。歴史的な教会やキリシタン関連の遺産が多く残っており文化的な旅行なども楽しめるようになっています。また、私は経験ないのですが、ダイビングやシュノーケリングも人気みたいですね。

五島列島は豊かな食の宝庫でもあります。代表的な特産品の一つが「五島牛」です。肉質が非常に柔らかく、風味が豊で、焼肉やステーキはも

ちろん、しゃぶしゃぶやすき焼きなど、さまざまなスタイルで楽しむことができます。

そして、五島列島はなんといっても新鮮な海産物の宝庫でもあります。ウニ、サザエ、アワビ、そして、マグロ、アジ、カサゴ、などの豊富な種類の魚介類が毎日新鮮な状態で提供されています。

また、福江島においては、6月頃に「BARAMON KING（トライアスロン大会）」や8月には「五島列島夕焼けマラソン」などが開催されており、多くの地元ボランティアも参加して、その時期は盛り上がってます。

五島列島は、自然と歴史が融合した魅力あふれる観光地です。皆様ぜひ一度訪れてみてください。



鬼岳山頂から福江港を望む



対馬の紹介

対馬支部長 八重島 弘

高速艇で壱岐沖から四方を見渡すと平戸等の島々始め九州本島が望める。

対馬からは空気が澄み渡った晴れた日に壱岐が、島の北からは釜山を望む。

長さ70キロ、幅10キロ、面積は長崎県の20%を占める広さがあるが、殆どが険しい山でその谷あい集落が入江毎に点在する。明治になって国防の島として要塞化が進むが、道路の整備は獣道のままで、渡海船を交通の手段としていた。そしてバルチック艦隊撃破。

対馬高校在学当時、田中角栄の日本列島改造論が発表され、対馬に道路網の整備が開始される。島民の2割が土建業で活気を呈し厳原町の歓楽街は長崎1位と言われた。

略歴、元寇をはじめとして3回壊滅。倭寇の基地。銀山が開発され大宝の年号はこれに因んでいる。豊臣秀吉の朝鮮出兵。江戸時代の朝鮮貿易。昭和30年前後の鯖景気、日本の高度経済成長期の烏賊景気、朝鮮戦争当時の密貿易、真珠養殖、海産物（ヒジキの9割は対馬産だった）、マグロの養殖。



鯖景気の時代

釜山～対馬間の高速艇による観光客の爆増。

対馬の中心地は厳原城下町で「城下に上る。」は厳原に行くことを意味する。高校を卒業するまでは学校と悪ガキと遊ぶ領域が対馬そのものだったのである。私が調査士になって対馬全島津々浦々を巡るようになって、島民が如何にして命を繋いで来たのかに興味を抱くのである。どんなに小さな集落にも石垣塀に門構えの大きな民家が存在する。土地が広く農作物が豊富な地域で解るが…。司馬遼太郎は対馬にも足を延ばした。

「街道に行く」によれば人の往来が盛んな時代時代で富を得る機会があったのだろう。

私感では、どんな景気も2、3年で終了する。これが経験から学べることである。

対馬北端の比田勝町のガソリンスタンド

の店主が1枚の写真を見せてくれた。

小さな漁村の入江を埋め尽くすほどの木帆船が係留された写真。当時その繁栄ぶりは東洋のニューヨークと言われたそうだ。その部落の1軒の万屋は長崎県で1番の塩の売り上げを記録した。

鯖景気の時代、日本全国から鯖を買い付けに来た船は、塩漬けにして持ち帰ったのである。

その店主は桶に重油を入れリヤカーで引いて寝る暇もなく販売した。ところが3億の負債を抱えて夜逃げした。その後、再び事業を立て直し私にその話をしてくれた。それは、亡き母の地縁もあり興味深く聞いた。

対馬調査士会の話からそれてしまったが、コーヒブレイク、楽しんでもいただけたら嬉しく思います。

● 本 会 活 動 報 告 ●



ラブフェス 2024 出展

広報部長 竹 永 智 彦

開 催 日：令和 6 年 11 月 3 日(日)、
11 月 4 日(月)の 2 日間
開催場所：長崎水辺の森公園一帯
参 加 者：

【1 日目】本会 山口賢一会長
初柴穰副会長
竹永智彦広報部長
本田将之広報部次長
大塚進作広報部員
長崎支部 中村洋介支部長
上戸聡副支部長
松尾剛会計

【2 日目】本会 初柴穰副会長
峰昇平副会長
竹永智彦広報部長
中野亮広報部員
長崎支部 後藤祐樹幹事
釘本正紀幹事

今年も昨年に引き続き、長崎県土地家屋調査士会としてブース出展を致しました。

来場された方々に、我々土地家屋調査士の宣伝やグッズ等の配布、境界標識のサンプル展示、測量機器を使った実演等を行い、土地家屋調査士の認知度の向上のために 2 日間尽力してまいりました。また、今年も

昨年同様、長崎地方法務局様にもブースの一部をご提供させていただき、今年は人権、自筆証書遺言書保管制度、法務局地図作成事業についてPRいただきました。



1 日目ブース出展状況

長崎地方法務局は1日目に主席登記官の下田一博様をはじめ11名の職員の皆様、2日目に総括表示登記専門官の西久保勝之様をはじめ7名の職員の皆様に来ていただきました。

1日目来場者状況です。



ブース出展中の我々土地家屋調査士！



来場者へ説明する我々土地家屋調査士！



お子様にも分かりやすく
手取足取り一緒に測量体験中！



お子様に大人気の法務局人権キャラクターの
人KENまもる君と人KENあゆみちゃんです！



長崎地方法務局の方々との記念写真です。1日目大盛況でした！

2日目です。



2日目ブース出展状況



土地家屋調査士関連の展示品に興味をもっていました



法務局職員の方も測量体験と器械のチェック！



我々土地家屋調査士も器械のチェック！



かわいいお子様！見えるかな？



測量体験コーナー
行列ができ大人気でした！

今年のラブフェスは、昨年と違い、1日目が日曜日、2日目は祝日の月曜日となりました。

来場者数では1日目は概ね5万人、2日目は概ね6万人で、2日間を通して11万人です。

一方、昨年の来場者は帆船祭りの同時開催もあり、2日間を通して、概ね13万人を記録しており、昨年より概ね2万人減少した結果となっております。要因としては、昨年は長崎帆船祭りと同時開催と1日目が土曜日、2日目が日曜日であること、今年は前日までが悪天候で1日目の開催時間が1時間程度遅れたことが挙げられるのではとのことでした。

しかしながら、今年については主催者側の当初の目標集客者よりもやや上回っているとの報告をいただいております。また、一般的な地元フェスティバルとしては大盛況と判断されています。

我々長崎県土地家屋調査士会のブースにお立ち寄りいただいた来場者は、ほとんどが長崎市内在住の人でしたが、諫早市、大村市、島原市、長与町、時津町などの長崎市近郊の方々など県南県央エリアの方も目立ちました。また、一部、佐賀県、福岡県などの県外の方々もお立ち寄りいただきましたが、地元が長崎市近郊で帰省中に立ち寄ったとの事でした。なお、昨年は長崎観

光ついでにその他県外や外国人の方々のお立ち寄りも目立ちましたが、今年はほとんどお立ち寄りいただいております。これも、今年は長崎帆船祭りと同時開催ではなく単独開催も影響しているかはわかりませんが、ラブフェス自体が地元色の強いイベントであることも実感しました。

今年も、このイベント出展において、土地家屋調査士がまだまだ一般の方々に対しては知名度が低いのは否めませんが、法務局という行政機関の力をお借りすることで、土地家屋調査士の存在のさらなるアピールに繋がったと思っております。一方、法務局という存在も普段は一般の方々には敷居が高く馴染みが薄いと思われがちですが、このようなイベント出展を通して、身近に感じてもらえるようにアピールをしていたと思います。

また、今年もこのイベント出展を共同で行うことで、法務局職員の皆様とも普段ではゆっくりとできないコミュニケーションもとることができ、土地家屋調査士の広報活動の取り組みを法務局の職員の皆様にもアピールできた最高のイベントであったと思います。

来年以降も継続的に長崎地方法務局様と協力して一般の方々への広報活動を行い、土地家屋調査士が長崎県の発展、活性化の一役を担えればと思っております。



長崎県土地家屋調査士会 会長

やまぐち

けんいち

山口 賢一氏

◎出身校

佐世保西高校、九州工業大学工学部

◎今年やってみたいこと・チャレンジしたいこと

認知度向上を目的とするPR活動に注力したい

◎趣味

神社仏閣巡り



長崎地方務局とイベントで不動産登記のPR

今年で土地家屋調査士制度制定から75年になります。土地家屋調査士は、土地を売買したり建物を建てたりしたときに、所有者の代わりに法務局に現状を登記するなど、市民の皆さまの大切な財産である不動産に関わる仕事を担っています。全国にいる約1万5千人のうち、長崎県の調査士会には190人が所属しています。

この資格は地元密着型の国家資格で、景気に大きく左右されません。独立開業している人がほとんどで、生涯にわたって働いていけるのも魅力です。しかし、業界は平均年齢が60歳以上と高齢化が進んでいます。もっと若い人に目を向けてもらいたいと、広報活動に注力してきました。

使った職業体験を実施し、実際に測量機を使って稲佐山をのぞいてもらうなど、子どもから大人まで多くの人に興味を持っていただきました。また、県内各地の高校や職業訓練施設などで出前授業を行い、これがきっかけで資格を取得した人も。今後も精力的にPR活動を続け、業界全体が活気づき、県民の皆さまからより安心して大切な財産のご相談を承れるよう、日々精進してまいります。

さらに、不動産に関する専門知識を活用し、不測の災害時における「不動産の表題部登記」「境界問題の相談」「土地境界の復元測量」など、長崎県との災害復興支援協定をはじめ、県内五つの自治体とも同協定を締結。社会貢献活動にも尽力いたします。

資格の認知広め 県民に安心を





「軍艦大作戦」測定協力

副会長 初 柴 穰

「軍艦大作戦」とは、長崎市の寿司店等が企画した、世界遺産の軍艦島（端島）が目前に見える海水浴場、長崎市高浜町の高浜アイランドにて軍艦島の南北の長さ480メートルと同じ長さを軍艦巻き10,000個を並べてギネス記録に挑戦しよう、というものです。

ちなみに、これまでの記録は、「世界一長い寿司」として登録された富山県の「ます寿司」5,347個437.02メートルです。

【経過報告】

令和6年10月14日(月)

知人を通じて、軍艦巻きの並んだ長さを測定し、ギネス記録申請の為の証明書を発行して欲しい、との依頼があった。面白い企画であった為、山口会長と協議し、長崎県土地家屋調査士会協力の形式で、依頼を受けることとしました。

令和6年11月2日(土)

12:00~14:30(前日)

主催者と打ち合わせを行い、砂浜に30メートル間隔でポイントを設置し、弓なりで480メートルの距離を確保しました。ポイントに沿って机を設置し、一晩掛けて軍艦巻きを並べるとのことでしたが、前日に台風から熱帯低気圧に変わった強い風と波が気に掛かりつつ現場を後にしました。

令和6年11月3日(日)

9:00~12:00(当日)

現地に到着すると、主催者から挑戦を断念する旨を伝えられました。砂浜に設置した机が波にさらわれたり、強風で軍艦巻きが飛んだり、砂を被ったり等があり断念した、とのこと（ちなみに並べた寿司の完食までがギネス記録認定の条件）。

しかしながら、机は場所を代え曲がりくねった列をなし、軍艦巻きは不揃いながらも並べられていました。

せっくなので、参考記録として距離の測定をしてほしい、と主催者からの要望があった為、広報部で取材に来ていた本田将之理事にも協力してもらい、軍艦巻きの距離を巻尺にて測定しました。

参考距離の結果は、451.81メートル（測定箇所：122）でした。距離だけで言えば、ギネス記録に到達していた為、とても残念な結果となりました。そして個人的には食べられるはずだった軍艦巻きが食べられずダブルでショックなこととなりました。

主催者は、また機会があれば挑戦したい、とのことでしたので、その際はまた協力できれば、と思います。

余談ですが、測定中に、取材に来ていたNIB（長崎国際テレビ）のアナウンサーから、参考距離が出たら教えて欲しいと頼

まれていた為、主催者の了解を得て、後ほど距離を報告しました。その際、アナウンサーの方が、土地家屋調査士はどういう仕事をされる方ですか、との質問があったの

で、業務内容を伝え理解していただきました。これが今回の一番の広報活動になったかもしれません。





令和6年度 親睦旅行in大阪

財務部長 秋 寄 喜多郎

1. 日程：令和6年12月7日～8日
2. 場所：大阪府大阪市
3. 親睦旅行参加者
山口賢一、松本忠寿、峰昇平、
竹永智彦、本多史典、田代彰、高原瑞、
前田明俊、谷口豊、大久保佳紀、
松屋徳夫、小川寛、山中信洋、
山中優子、秋寄喜多郎（敬称略）
4. 報告

例年は日調連のゴルフ大会に合わせて親睦旅行を企画していましたが、今年度は独自に会員の親睦旅行を企画しました。財務部を中心に、長崎から行きやすい大阪に場所を決め会員へ周知したところ15名（会員14名、会員の家族1名）の参加がありました。2日間楽しみながら行動を共にすることで親睦を深める事ができました。

新幹線のチケットは日本旅行に依頼しましたが、担当者とのやりとりが少し上手くいかないところがあり、飛行機で行く予定が新幹線で大阪に向かうことになりました。当初の観光計画も変更を余儀なくされましたが、大阪には観光場所も多く楽しむことができました。

参加者間の連絡は事前にLINEグループを作成して行い、スムーズに情報の共有ができました。

【1日目】

早朝、各自近隣の新幹線駅に集合し、西九州新幹線と山陽新幹線で大阪まで移動。朝の集合に本多部長が寝坊して新幹線に乗車できないというトラブルもありましたが、無事に大阪に到着しました。大阪の中心、なんば駅に移動し昼食をたべ、ホテルへチェックイン。



ホテルは、展望レストラン・大浴場・サウナ・フィットネスジム・プールなどを兼ね備えた開業7日目のアパホテル・リゾートに宿泊しました。サウナは本格的なフィンランド式で気持ち良く、整うことができました。外国の観光客も多く、インバウン

ドを肌で感じることができました。

チェックイン後は、通天閣・新世界エリアに向かい、1時間ほど自由行動。通天閣に登ったり、自由に歩いて観光したり、居酒屋に入ったりと、それぞれで自由な時間を過ごしました。



自由時間の後は、法善寺横町を散策し道頓堀へ。道頓堀クルーズに乗る予定だったが、乗車券を購入するのに30分待ちで行列が並んでおり、諦めて懇親会会場へ。

夕食は大阪らしく串カツの店を選定。とても美味しかった。懇親会後はホテルに帰る組と夜の大阪を楽しむ組に分かれ、1日は終了しました。



【2日目】

夕方、新幹線の時間まで自由行動。大阪城へ行く組と、難波周辺を観光する組に分かれました。難波八坂神社で巨大な獅子の建造物を拝み、神社へお参りしました。神社内のQRコードで神社や奉っている神様の説明がなされていたのが印象的でした。その後、大阪の台所「黒門市場」へ。インバウンドのお客が多く、売っているものの値段もインバウンド価格でした。長崎では感じる事ができない、世界の中での日本の立ち位置を実感しました。

その後、難場駅周辺で昼食・お好み焼きを食べ新大阪駅へ移動し、長崎へ。夜7時頃に到着し、2日間の旅行を終えました。

途中アクシデントや至らぬ点などいくつかありましたが、2日間通して事故や怪我もなく、無事に終えることができました。参加された皆様、ありがとうございました。





金融機関との研修会

社会事業部長兼センター長 本 多 史 典

日 時：令和7年1月30日(木)

15:00～16:30

場 所：九州労働金庫 長崎支店

(4階 会議室)

担 当：長崎県土地家屋調査士会 社会事業部

講 師：高原瑞会員、長谷川英樹会員

参加者：初柴穰副会長、

本多史典社会事業部長、

中尾俊郎部員、出口康智部員

ろうきん長崎支店及び各支店

融資担当者32名 (Web視聴16名)

から研修依頼の要望があったとの連絡が入りましたので、令和6年11月に「ろうきん長崎」に出向き、研修担当者である湯浅支店長、植木専任役とお話し、新人行員さんに向けた研修会(勉強会)という方向で進めることになりました。

資料作成に関しては、前年度と同じ資料を使用しました。また、講師の選任に関しては、前年度講師の実績のある、高原瑞社会事業部次長、長谷川英樹会員に再度お願いしました。

【内容】

社会事業部において、「金融機関との研修会(勉強会)」を行いました。

土地家屋調査士が関与する登記記録及び地図等の基礎的な解説と、金融機関の業務に係る各種手続きの概要等の解説を行い、最後に、銀行側と土地家屋調査士側からの双方の質疑応答の時間を設けるという流れで実施しました。

【背景】

近年他県会では、盛んに金融機関へ研修会を行っている状況でありました。前年度、本会でも社会事業部において十八親和銀行への研修会を実施しました。

今回は、部員の方が、「ろうきん長崎」

【実施】



講義風景

ろうきん長崎 湯浅支店長の提案で、ろうきん長崎内の通信環境で、Webでも行うハイブリッド研修を実施しました。



高原講師 長谷川講師 講義風景

資料の前半部分である登記の基礎部分と、住居表示と地番表示の別、土地家屋調査士の業務内容、連携をどうとるかを高原講師が担当し、銀行と関連する土地家屋調査士の実務に関する部分を長谷川講師が担当した。

全体的に新人行員さんに向けた講義を行いました。ポイントを外さないような慎重な講義をされたと思います。

質疑応答では、地積測量図の読み方を教えてほしい。未登記建物と新築建物の登記と一緒に依頼する場合の登記のタイミングを教えてほしい。など土地・建物双方に関係する質問が多数出ました。

湯浅支店長からは中級者向けの講義もお願いしたい。また、九州内の他県のろうきんグループでの講義も実現してもらいたいとの要望をいただきました。継続していければと思います。

【最後に】

長崎県土地家屋調査士会にて保有している記念グッズの中から、クリアファイル、登記案内パンフレット（建物、建物滅失、農地転用）、小冊子を各20部配布しました。





長崎工業高等学校出前授業

広報部 中 野 亮

日時：令和7年2月12日(水)

9：50～11：40

場所：長崎県立長崎工業高校工業高校

担当：長崎県土地家屋調査士会 長崎支部
中村支部長、釘本会員
長崎県土地家屋調査士会 広報部
竹永広報部長、大塚会員、中野会員
大瀬さん（土地家屋調査士法人TST補助者）

【出前授業の概要】

2時限目 座学 実習室（9：50～10：40）

中村支部長挨拶（5分）

連合会動画視聴「地面のボタンのなぞ」（27分）

土地家屋調査士の紹介 大塚会員（15分）

トータルステーションの紹介 竹永広報部長（3分）

3時限目 座学 実習室（10：50～11：40）

YouTube視聴

「境界を探せ！3人の土地家屋調査士たち」（27分）

中野会員・釘本会員 土地家屋調査士になっ
た経緯など自己紹介

大瀬さん 土地家屋調査士補助者となった
経緯など自己紹介（計18分）

質疑応答、生徒代表よりお礼の言葉（計5分）

【出前授業の内容】

長崎県立長崎工業高校建設課1年生を対象に出前授業を行いました。

講師として、長崎支部より中村支部長、釘本会員、本会広報部より、竹永広報部長、大塚会員、中野会員、大瀬さん（土地家屋調査士法人TST補助者）より6名が参加しました。

時間として、2時限目、3時限目を使って行われました。晴天時に測量実習を行う予定でしたが、雨天のため屋内での授業を行いました。

内容として、2時限目では、「地面のボタンのなぞ」（YouTube）、土地家屋調査士の紹介(大塚会員)より土地家屋調査士がどのような職業かの説明を行いました。また、トータルステーションの紹介(竹永広報部長)を実施し、普段、土地家屋調査士がどのような道具を使用して業務を行っているか紹介をしました。

次に3時限目では、日調連作成動画「境界をさがせ～3人の土地家屋調査士（YouTube）から、実際の調査士が具体的な業務の様子を説明させて頂きました。その後、釘本会員、中野会員、大瀬さんにより、どうして土地家屋調査士業界に興味を持ったのか等を自身の経歴を踏まえて講義を行いました。映像や実際の話を通じて土地家屋

調査士に興味を持ってもらえたかと思えます。

例年通り、クリアファイル、野帳、漫画を配布しました。

今回の出前授業により、一人でも多く土地家屋調査士に興味を持ってもらい、若い調査士が誕生し業界がより盛り上げる助力になればと思います。



授業風景



調停人その後

社会事業部長兼センター長 本 多 史 典

令和6年4月から民事調停の調停人として島原地区で活動をしています。調停人一年目では、実際に行われている調停を見学し、調停内容の一連の流れを把握する機会が設けられます。

その際にも、調停人の除斥理由は適用されるので、私の場合、先の2回は申立人又は相手方を知っているという事で参加出来ず、3回目の機会に調停に参加し見学させてもらいました。

内容としては、NHKの連続テレビ小説「虎に翼」'24の調停シーンと全く同じで、申立人と相手方、交互個別に2人の調停人で聴取をし、その後判事と調停人で内容の確認及び今後どう話を進めて行くかという打合せをするというものです。各30分と時間設定はかなり短いと感じました。また、申立人と相手方の主張については、聴取の際にどんどん話が膨らんでくるので、論点整理がとても大切になってくると思いました。

調停に出席する前に調停人が行う事は、事前に資料の確認作業を行う事です。事件の準備書面の読み込みや、調停人のメモ等も裁判所から持ち出して確認作業を行うことは出来ず、全て裁判所内で行わなければなりません。慣れた調停人の方は時間が読めるので、調停の1時間前に出向き作業を行うそうです。何件も掛持ちで調停を行っている方は、本業の合間の昼休みに読み込みを行っているとの事です。私の担当分については、最初の準備書面の読み込みは、調停の前日に3時間かかりました。

裁判所内には、調停人が準備書面等の読み込みや、手控え(メモ)などの事務作業を行う調停人控室が設けられています。ここでは複数の調停人が、調停準備のために同時に使用したりもします。また、調停協会の申し送りや書類などもここで受け取るようになっています。それと、この調停人控室は、調停人どうしの情報交換の場にもなっ



家事裁判（模擬）

1. 裁判官
2. 参与員
3. 裁判所書記官
4. 代理人（弁護士）
5. 当事者

写真出典：調停時報、家庭裁判所のあらまし

ています。私もここで準備書面を読み込んでいる時に、複数の先輩調停人の方とお会いし調停の経験談などお聞かせいただきました。島原地区の調停協会でも企画された各種無料相談や、研修会、懇親会などありますが、なかなか時間が取れず参加できない場合が多く調停人どうしで顔を合わせる機会が少ないので、この調停人控室での話がとても参考になります。

現在私が担当している調停手続きの性質はちょっと特殊で、事件中の手続の一部として和解を進める中で、裁判官の補助として専門家としての知識を生かせるような司法委員に似た立場での手続きを行っています。

地方裁判所が司法委員候補者を選任し、簡易裁判所にて個別の事件ごとに司法委員候補者の中から裁判官が司法委員を指定する。司法委員とは、非訟事件のみを扱う調停とは別に、簡易裁判所が扱う軽微な民事事件において、裁判官が和解を試みるときにその補助をする役目を担い、審理に立ち会って、裁判官に意見を述べるなどして、裁判所の立場で、事件の解決を行う職務です。

私は土地家屋調査士会の境界鑑定委員会で、裁判に関係する鑑定人(土地家屋調査

士)に関して研究をしていた事もあったので、裁判所にて鑑定人についてどういう認識があるか質問してみました。裁判所からは少額の民事事件の場合は、鑑定人(土地家屋調査士)へ依頼はせずに、簡易裁判所にて上記司法委員を指定(配転)して事件解決する事が主流だという事でした。

土地家屋調査士が、その専門性を生かせる裁判所の司法に参画するにあたり、ざっくりと分けると、[地方裁判所は民事調停(民事調停人)、家庭裁判所は家事調停(家事調停人)、簡易裁判所は少額の民事事件(司法委員)]となります。私が見学した民事調停は、本格的な調停でしたが、現在担当している調停は、土地家屋調査士の知識が生かせるもので、先にも書いたように司法委員の役務内容の性質が似ていると感じました。裁判所事務局でそういった話をしていた訳ですが、私についても、昨年裁判所から司法委員候補者のお誘いがありましたので、受ける事にしました。まだまだ調停経験も浅く研鑽しなければならない訳ですが、自分にとっては良い機会だと思いますので、令和7年1月から司法委員の活動も開始します。



通常法定での民事裁判(模擬)

1. 裁判官
2. 司法委員
3. 原告
4. 被告
5. 裁判所書記官
6. 裁判所事務官(廷吏)

写真出典：初めて司法委員となられる方に



軍艦島について

広報部長 竹 永 智 彦

長崎県土地家屋調査士会広報部の竹永です。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

早いもので、広報部長に就任して早くも1期2年が過ぎようとしております。今号で私が担当する最後の会報誌の作成となりました。私が広報部長に就任中の令和6年とは何かと軍艦島(端島)が話題になりました。まずは、令和6年10月20日から12月22日まで夜9時放送NBC(TBS系)の日曜劇場ドラマ「海に眠るダイヤモンド」は、端島を舞台に昭和の高度成長期と現代を行き来するタイムリープ要素もありながら、愛、友情、青春そしてその時代における人間模様を描いた美しいドラマでした。若年層から年配層まで幅広い層から支持を得ていましたし、SNSでもドラマの展望をめぐり考察が行われたりと盛り上がりを感じました。ドラマ放送後、ロケ地巡りで観光客の増加もあったようですし、長崎の魅力発信に一役買っていたのではないのでしょうか。もう一つは広報の会務として、軍艦島が見える海水浴場の一部で軍艦大作戦と称する軍艦巻きの長さを測定し、ギネス記録申請のために測定の協力依頼を受けました。これらのことを受けて私も自分なりに軍艦島にまつわることを題材に寄稿させていただきましたので、ご一読いただければ幸いです。

【軍艦島の概要】

軍艦島の概要ですが、フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より以下、一部抜粋しました。

端島（はしま）は、長崎県長崎市（旧：西彼杵郡高島町）にある島。通称は軍艦島（ぐんかんじま）。「羽島」とも書いていた。

明治時代から昭和時代にかけて海底炭鉱によって栄え、日本初の鉄筋コンクリート造の高層集合住宅も建造されるなど、1960年代には東京以上の人口密度を有していた。1974年（昭和49年）の閉山にともない、島民が島を離れてからは無人島である。

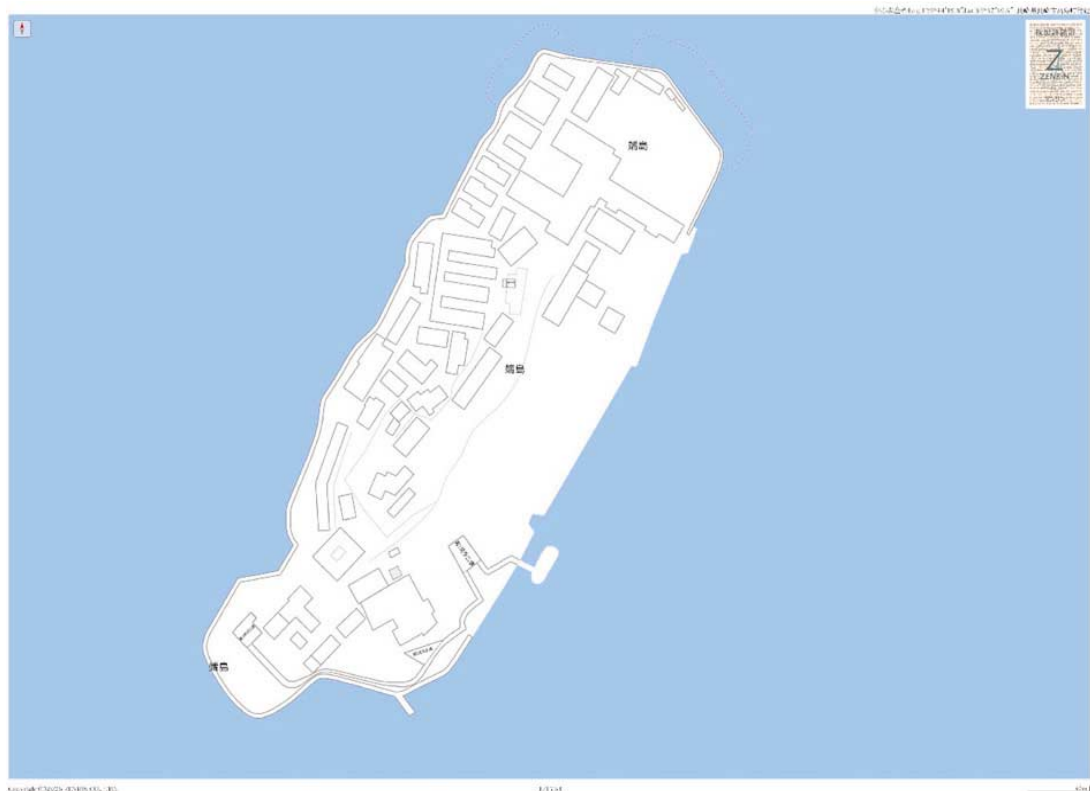
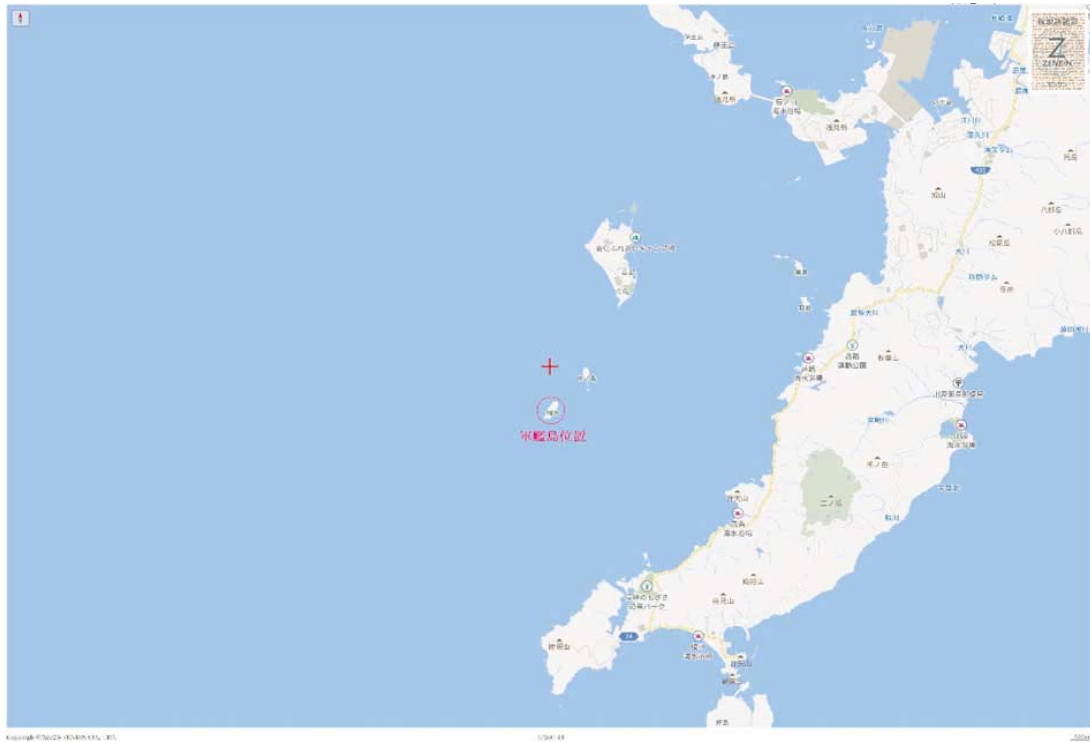
2015年（平成27年）、国際記念物遺跡会議（イコモス）により、端島炭坑を構成遺産に含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」がユネスコの世界文化遺産に登録された。2024年現在、老朽化が進んでおり保全対策が一つの課題となっている。

同じく炭鉱で栄えていた高島の南端からは南西に約2.5キロメートルの距離にあり、長崎半島（野母半島）からは約4.5キロメートル離れている。

端島は元々、南北約320メートル、東西約120メートルの小さな瀬だった。その小さな瀬と周囲の岩礁・砂州を、1897年（明治30年）から1931年（昭和6年）にわたる

6回の埋め立て工事によって、約3倍の面積に拡張した。その大きさは南北に約480メートル、東西に約160メートルで、南北に細長く、海岸線は直線的で、島全体が護岸堤防で覆われている。面積は約6.3ヘク

タール、海岸線の全長は約1,200メートル。島の中央部には埋め立て前の岩山が南北に走っており、その西側と北側および山頂には住宅などの生活に関する施設が、東側と南側には炭鉱関連の施設がある。





フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」の画像情報より

【法務局備付資料を入手しての軍艦島の考察】

法務局備付資料である軍艦島に関する公図、土地登記事項全部証明書、建物登記事項全部証明書を入手しました。入手後に私の方で、土地建物登記記録の方は、閲覧調書として整理し、公図においても閲覧調書をもとに軍艦島すべてに関する公図合成を

作成しました。なお、本誌に今回の資料を掲載する旨については、軍艦島全般における管轄部署の長崎市役所文化観光部観光政策課に報告し、差支えないとのご回答をいただいております。

●軍艦島土地について

関 覧 調 書

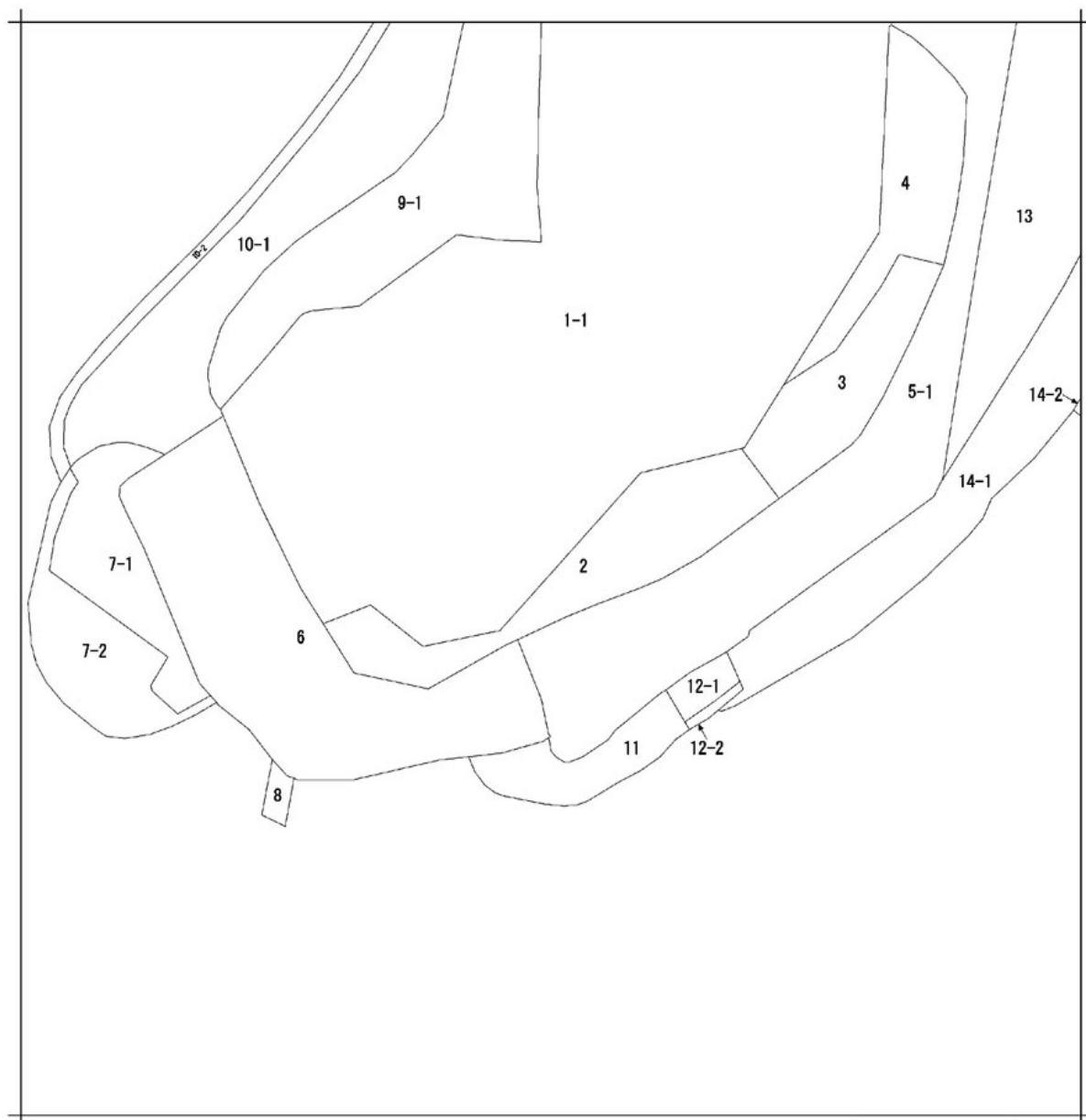
閲覧者 土地家屋調査士 竹永 智彦

閲覧日 令和7年2月3日

ページ 1/1

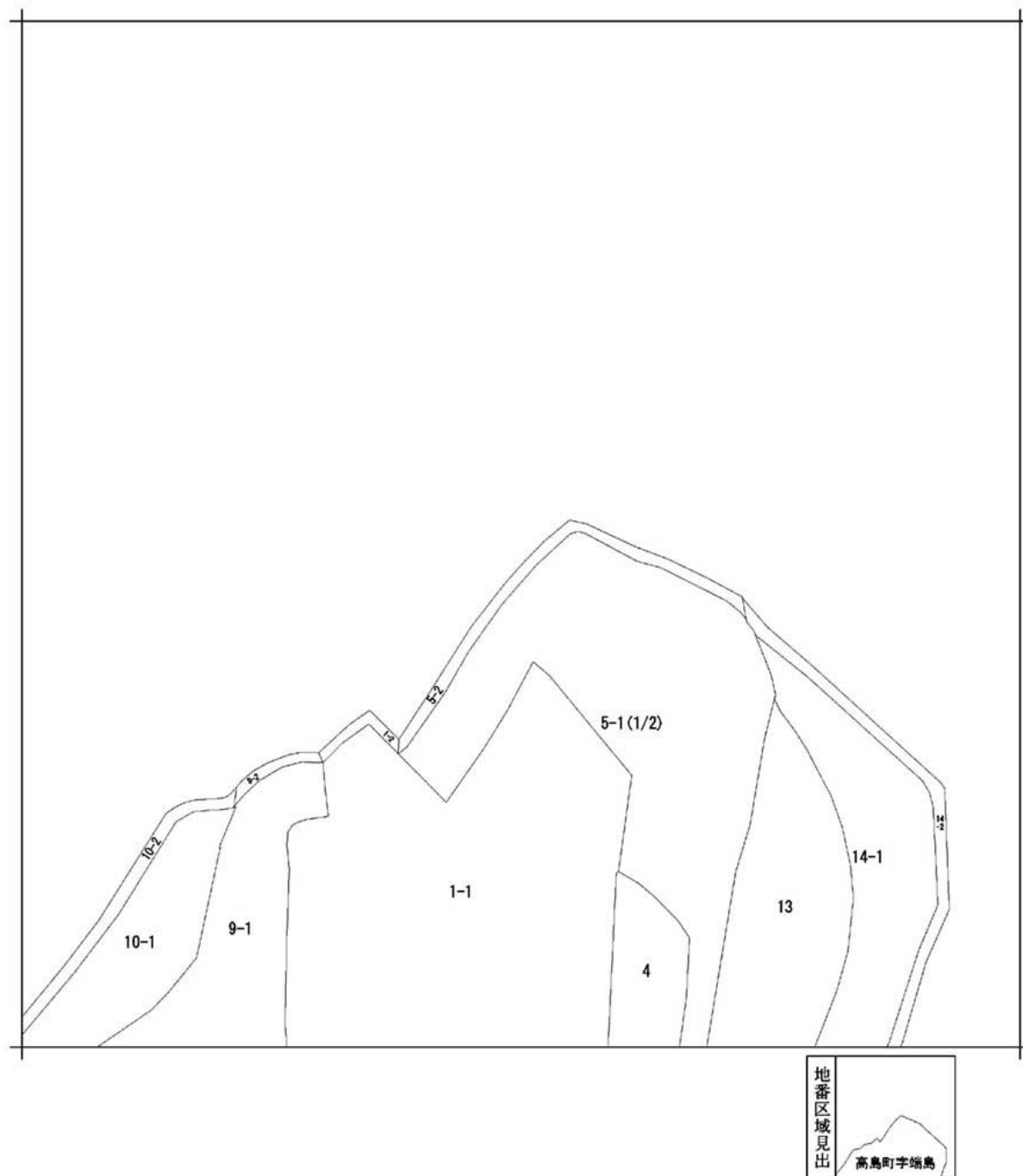
所 在		長崎市高島町字端島					
	地 番	地 目	地 積 (㎡)	甲 区 (登記名義人)		乙 区	地 積
				氏 名	住 所	抵当権	測 量 図
1	1番1	宅地	20382.64	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
2	1番2	宅地	60.29	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
3	2番	宅地	3480.99	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
4	3番	雑種地	1679	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
5	4番	宅地	1725.61	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
6	5番1	宅地	12300.23	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
7	5番2	宅地	441.25	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
8	6番	宅地	7352.06	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
9	7番1	宅地	414.71	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
10	7番2	宅地	2791.96	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
11	8番	雑種地	59	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
12	9番1	宅地	2555.86	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
13	9番2	宅地	112.26	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
14	10番1	宅地	2611.70	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
15	10番2	宅地	616.06	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
16	11番	宅地	900.39	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
17	12番1	宅地	158.84	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
18	12番2	宅地	92.39	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
19	13番	雑種地	4396	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
20	14番1	雑種地	2165	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
21	14番2	雑種地	806	西彼杵郡高島町	※昭和31年5月28日寄付	無	無
22		合計地積	65102.24		宅地16筆、雑種地5筆 計21筆		
23							
24							
25							
地番は若い順とする。							
乙区は抵当権等の数を記載する。(①、②、③、・・・)							
地積測量図は、三斜図面は三、読取図面は読、座標図面は座を記入する。							

●法務局備付公図（登記情報サービスより入手）



請求部分	所在	長崎市高島町字端島				地番	2番		
出力縮尺	縮尺不明	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面			種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)				補記事項	方位不明

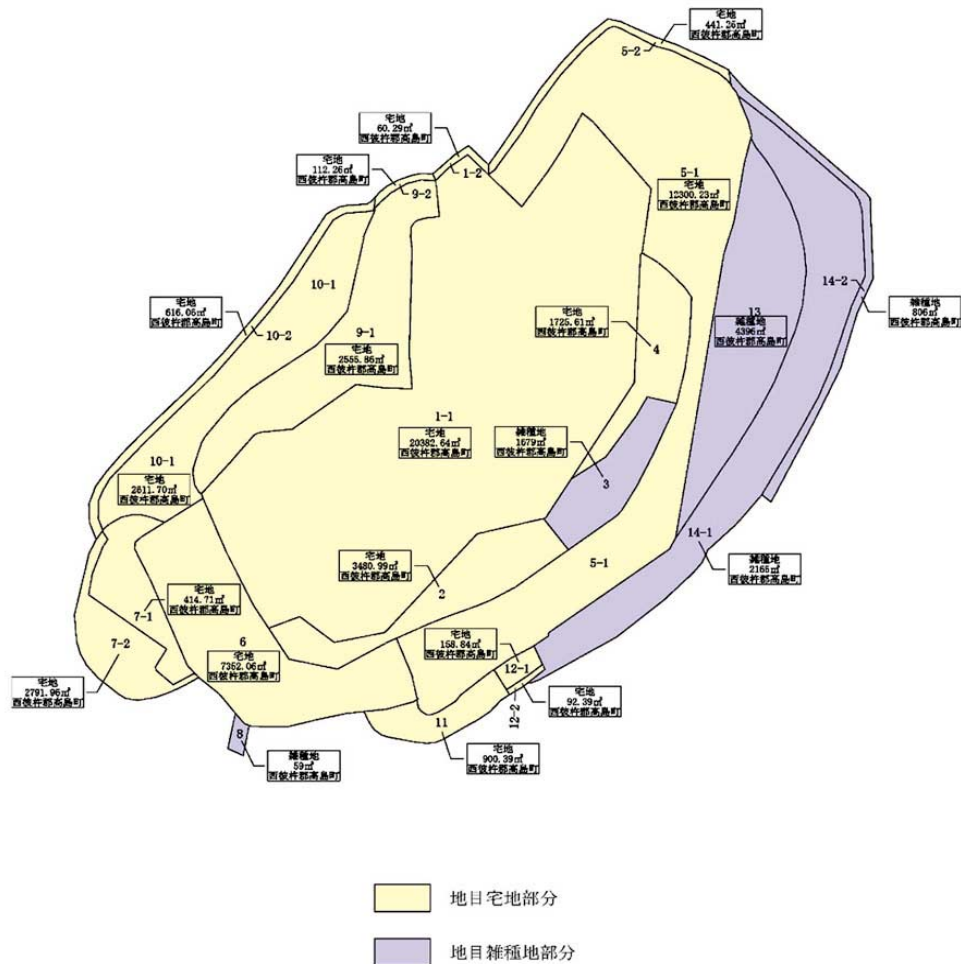
●法務局備付公図（登記情報サービスより入手）



請求部	所在	長崎市高島町字端島				地番	5番1		
出力縮	縮尺不明	精度	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項	方位不明	

軍艦島 法務局備付公図合成

所在：長崎市高島町字端島



まず、軍艦島の土地登記記録（台帳上）の正式な所在は、長崎市高島町字端島です。軍艦島の土地の筆数は全部で21筆、地目は、宅地と雑種地のみです。

登記記録（台帳上）での合計面積は、軍艦島の公表されている面積と概ね近い数値になっております。

なお、公図の形状、地番配列も実際の現

地と概ね一致しているのではないかと考えられます。また、現在の所有者は長崎市（旧西彼杵郡高島町）のみになります。

軍艦島の殆どの土地が大正7年以降に三菱関係の企業様が所有されておりましたが、平成13年には寄付により現在の長崎市に引き継がれております。

●軍艦島建物について

関 覧 調 査 書

閲覧者 土地家屋調査士 竹永 智彦

閲覧日 令和7年2月4日

ページ 1/1

所 在		長崎市高島町字端島					
	所 家 屋 番 号	種 類	構 造	甲 区（登記名義人）		乙 区	建物図面
				氏 名	住 所	抵当権	各階平面図
1	1番地1 1番	共同住宅	鉄筋コンクリート造 陸屋根 4階建	西彼杵郡高島町	※昭和34年4月30日新築 ※平成13年10月19日寄付	無	無
2	3番地、5番地1 1番10	貯炭庫	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺 平家建	西彼杵郡高島町	※昭和28年4月1日新築 ※平成13年10月19日寄付	無	無
3	14番地1 1番28	資材倉庫	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	西彼杵郡高島町	※昭和15年9月1日新築 ※平成13年10月19日寄付	無	無
4	2番地 2番	教員宿舎	鉄筋コンクリート造 陸屋根 4階建	西彼杵郡高島町	※昭和43年10月31日新築 ※昭和50年3月10日売買	無	有
5	5番地 3番	居宅	鉄筋コンクリート造 地下1階付 5階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
6	5番地1 3番2	共同住宅	鉄筋コンクリート造 陸屋根 10階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
7	5番地1 3番3	病院	鉄筋コンクリート造 陸屋根 4階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
8	6番地 4番	居宅	鉄筋コンクリート造 地下1階付 5階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
9	6番地 5番	居宅	鉄筋コンクリート造 地下1階付 5階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
10	6番地 6番	居宅	鉄筋コンクリート造 地下1階付 5階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
11	2番地 9番	居宅	鉄筋コンクリート 9階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
12	9番地1 9番1	共同住宅	鉄筋コンクリート造 陸屋根 8階建	西彼杵郡高島町	※昭和36年8月3日新築 ※平成13年10月19日寄付	無	無
13	2番地 10番	鉾員住家	鉄筋コンクリート 9階建	西彼杵郡高島町	※平成13年10月19日寄付	無	無
14							
15							
家屋番号は若い順とする。							
乙区は抵当権等の数を記載する。（①、②、③、・・・）							

表 題 部	(主である建物の表示)	調製	平成6年9月8日	不動産番号	3100000370401
所在図番号	余 白				
所 在	西彼杵郡高島町字端島 5番地			余 白	
	長崎市高島町字端島 5番地			平成17年1月4日合併に伴う変更 平成17年1月17日登記	
家屋番号	3番			余 白	
① 種 類	② 構 造	③ 床 面 積 m ²		原因及びその日付〔登記の日付〕	
居宅	鉄筋コンクリート造地下1 階付5階建	1階	142:01	余 白	
		2階	146:47		
		3階	146:47		
		4階	146:47		
		5階	146:47		
		屋階	17:09		
		地下1階	31:20		
余 白	余 白	余 白	:	昭和63年法務省令第37号附則第2条第 2項の規定により移記	
			:	平成6年9月8日	
			:		

建物登記記録一部抜粋

表 題 部	(主である建物の表示)	調製	平成6年9月8日	不動産番号	3100000370392
所在図番号	余 白				
所 在	西彼杵郡高島町字端島 2番地			余 白	
	長崎市高島町字端島 2番地			平成17年1月4日合併に伴う変更 平成17年1月17日登記	
家屋番号	9番			余 白	
① 種 類	② 構 造	③ 床 面 積 m ²		原因及びその日付〔登記の日付〕	
居宅	鉄筋コンクリート9階建	1階	786:77	余 白	
		2階	831:40		
		3階	831:40		
		4階	831:40		
		5階	831:40		
		6階	831:40		
		7階	831:40		
		8階	831:40		
		9階	831:40		
		地下1階	786:77		
余 白	余 白	余 白	:	昭和63年法務省令第37号附則第2条第 2項の規定により移記	
			:	平成6年9月8日	
			:		

建物登記記録一部抜粋

登記年月日：昭和44年2月1日

355322		家屋番号		番	
家屋番号		建各階平面図		建物の所在 長崎市	
建物の所在		長崎市高島町 西條村高島町字軍艦島2番地		(昭) 平44年2月1日登記	
				昭和 44 年 1 月 20 日	
				作製者	
				代理人 申請人	
縮尺		1/200 1/400			

法務局備付各階平面図・建物図面

建物については、登記されている建物が13棟ありました。その中で、図面が法務局に備え付けられているものは1棟のみでした。

所在と家屋番号についてですが、通常は建物底地の地番と同じ番号が付されると思いますが、殆どの建物が、所在地番と家屋番号が一致しておりませんでした。

種類についてですが、共同住宅、居宅、病院、貯炭庫、資材倉庫、教員宿舎、鉦貝住家と7種類でした。これからも軍艦島が

どのような島であったかの想像が付きました。種類について今現在では登記の種類としては認定できないものもあるように思えました。また、軍艦島での居宅と共同住宅の違いを登記記録上から判別するのが難しく思えました。

構造についてですが、鉄筋コンクリート9階建のように造が入っていなかったり、屋根材の記載がないものも見受けられました。現在では屋根材の記載がなくても良いものの例として堀車庫の登記などはあると

思われます。

床面積についてですが、階数の中で屋階ということで床面積に記載されてあるものも見受けられました。ただ、構造の階数には加算はされておられません。

【まとめ】

軍艦島の土地建物の不動産に関しましては、コンピューター化された法務局備付資料のみを限られた時間で考察してまいりました。その中で、我々土地家屋調査士が行う調査測量及び表示登記については、昭和

44年以降はされていないようです。今後は、コンピューター化に伴う閉鎖登記簿、旧土地台帳、旧公図などを入手してみるとまた新たな発見ができるものと思っております。また、軍艦島を管理されている長崎市などによる資料入手、我々土地家屋調査士が現地に赴いて、現在保管されている書証との対比ができれば、軍艦島の不動産の変移の新たな発見ができるのではないかと思います。これらについては、次回以降の掲載につなげられるように期待したいです。



土地家屋調査士会に入会して

諫早支部 尾上 健太

令和6年8月1日付入会

【自己紹介】

皆さんこんにちは。尾上健太と申します。
この度、令和6年8月1日付けで長崎県土地家屋調査士会の諫早支部に入会させていただきました。現在、32歳です。

私は五島列島の新上五島町で生まれ育ち、高校卒業後は岡山県倉敷市で診療放射線技師の私立の学校を卒業し、国家試験を合格してからは長崎市と諫早市の総合病院で診療放射線技師として働いてきました。

少し病院勤務当時を思い出します。私は医師の依頼により必要最低限の被曝量で最大限の質の医用画像を提供する事を最優先に考え、日々の業務に取り組んでいました。また日勤だけでなく夜間の救急医療のレントゲン・CT・MRI及び手術室撮影なども行い、交通外傷や急変患者に対して、1年目から1人で自分の頭で考えて、失敗を繰り返しながら一人でも多くの命が助かるように毎日必死に医療従事してきたことを覚えています。ちなみに、専門は『放射線治療』分野でした。

実務未経験で土地家屋調査士試験を運良く通ったわけですが、開業前に2ヶ月ほど長崎県内の調査士事務所にお世話になりました。仕事の事だけでなく、経営のことや物事の考え方など、私に足りない物を多数教えて頂きました。心から感謝しています。

【目標】

私の目標は2つあります。

1つめは、『将来子どもに「お父さんの子どもで良かった。」と言ってもらうこと』です。

金銭的な安定はもちろんですが、家族と過ごす時間を大切にし、子どものために全力で生きていきたいと思います。

2つめは『固定観念を無くす』です。

たとえ経験を積んで実務が比較的容易になったとしても、もっと良い方法がないか、もっと依頼者のためになることはないかを何歳になっても"考えようとする"ことができる大人になるのが目標です。

【最後に】

これからの日本という国で、確実に縮小していく経済のマーケットとは裏腹に何事も多様化していく時代のなかで、土地家屋調査士が必要とされ続けるために、常に新しい発想をもって仕事に向き合っていけたらと考えています。最後までお読み頂き、ありがとうございました。



土地家屋調査士会に入会して

佐世保支部 井村卓司

令和6年8月20日付入会

令和6年8月20日付けで長崎県土地家屋調査士会に入会させていただきました佐世保支部の井村卓司と申します。

私は大阪で生まれ育ちました。社会人のスタートも大阪でしたが、転勤で平成17年に長崎に家族で移り住みました。長らくお世話になり、子供達も成人を迎え学業や仕事で県外に巣立ちました。子供達の故郷となった長崎でしたが、私も転勤で大阪に戻りました。引き続き会社勤務をしておりますが、長崎の豊かな自然に包まれた景色と、趣味や地域活動で親しくなった仲間の大切さを心に思っていました。一方、土地家屋調査士という職業人への憧れで平成13年試験合格したのですが、当時踏み出しきれなかった自分に悶々とした気持ちを持ち続けていました。色々な思いの中、30年お世話になった会社に感謝し55歳で退職いたしました。長崎への移住と土地家屋調査士への歩みに挑戦する決意をいたしました。

土地家屋調査士の業界に踏み出し、大阪に住んでいる間に、有難いご縁で、大阪、仙台、奈良の先生に教えをいただけることができました。他業界からの転身で無知を痛感し、学びを得ようとしてもはかどらず、先生方にはご迷惑をかけました。自分なりに精一杯しても実らない歯痒い思いでした。そのような中ではありましたが、土地家屋調査士として生きていくうえで、大切な言

葉を教えていただき、貴重な体験させていただきました。

それぞれの事案にあった高度と目線「鳥の目」と「虫の目」を持ちなさいと教えていただきました。今の自分にはまだまだ難しい言葉ですが、人と関わる仕事です。心に刻んで取り組みたいと思っています。平板測量を実際に体験させていただきました。当時の測量技術の中で、先輩たちがされた最高の仕事を学ぶことができました。勉強の時間は限られていましたが、人生の中でとても濃い時間を過ごしました。

勉強させていただいた先生方から「早く地域に溶け込みなさい。」とアドバイスいただきました。地域のことや、地域のやり方を理解することがこの仕事ではとても大事なことだと教えていただきました。移り住み開業して間もないにもかかわらず、支部の皆様には、早速相談に乗っていただいたり、声をかけていただいたり、とても感謝しております。一日も早くお役に立てられるように努力してまいります。

土地家屋調査士の仕事の難しさや深みを理解するには、まだまだ経験も努力も足りていません。その理解の先にある、経験豊富な諸先輩方が言われる土地家屋調査士の仕事の楽しさに早く辿り着くように日々頑張っておりますので、何卒ご指導お願い申し上げます。

◀ 編集後記 ▶

広報部次長 本 田 将 之

まだまだ寒い日が続きますが体調など崩されていないでしょうか。われわれ土地家屋調査士は外での作業が多くありますので防寒対策をしっかりとされて、体調管理に十分にご注意くださいますようお願いします。

さて、今年は大阪市の夢洲で大阪・関西万博（正式名：2025年日本国際博覧会）が開催されます。2005年に開催された愛・地球博に続き、20年ぶりに日本で開催される国際博覧会です。

4月13日(日)から10月13日(月)までの184日間にわたり、世界中からたくさんの人やモノが集まり、地球規模のさまざまな課題に取り組むため、世界各地から英知が集まる場となります。過去にはエレベーター（1853年ニューヨーク万博）電話（1876年フィラデルフィア万博）ファミリーレストラン、ワイヤレステレフォン、電気自動車、動く歩道（1970年大阪万博）ICチップ入り入場券、AED、ドラ

イミスト（2005年愛知万博）など、新しい技術や商品が生まれています。機会があれば時代の最先端を進む各国の技術を観に行ければと思います。

また、今年は長崎県でもながさきピース文化祭2025（正式名：第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）が開催されます。長崎県では初めての開催で9月14日(日)から11月30日(日)の78日間にわたり県内各地がさまざまな事業・イベント等が予定されています。長崎県での初開催となりますので、みなさまも是非ご覧になられてはいかがでしょうか。

最後になりますが、本広報部での活動も半年を切りました。これまで皆様には会報ながさきへの寄稿いただき、誠にありがとうございました。残りの期間も竹永部長のもと広報部一丸となって会報ながさきの更なる発展を目指していきますので宜しくお願い致します。



点群から平面図作成を1つのアプリで完結するCADシステム登場

新登場

ANIST -アニスト-

点群データから平面図作成の課題を解決!

点群データの編集作業を軽減!
ダイレクトに平面図の作成が可能!

現況 CAD コマンドも多数搭載。

現況平面図を作成したいというお客様のご要望にお応えした新製品となっております。



動画や詳細はANIST製品ページをご確認ください!

<https://www.aisantec-geo.jp/service/anist/>



アイサンテクノロジー株式会社
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
測量ソリューション事業本部
<https://www.aisantec.co.jp/>



アイサンテクノロジーまで
お気軽にお電話ください!

ナビダイヤル 0570-064-457



(株)水上洋行感謝祭

建設DXフェア

2025年4/8(火)9(水) 9:30-17:00

開催場所: 福岡国際センター
(福岡県福岡市博多区築港本町2-2)



株式会社 水上洋行 長崎営業所

IT導入・各種補助金ご相談ください

MIZUKAMI 〒852-8034 長崎市城栄町10-10 Tel.095(844)4308 Fax.095(844)4203 <https://mizukami-abroad.co.jp>

九州最大級42社出展

最新機器デモンストレーション

自律飛行ドローンレーザー、

自律歩行レーザーロボット、

杭ナビシヨベル乗車体験



基調講演・セミナー

国土交通省担当者などによる講演セミナー

CPDS・設計CPD認定(予定)

豪華賞品が当たる!

スタンプラリー抽選会や杭ナビ宝さがし開催!

フードブースキッチンカーが来場!

2024.7.16
新発売

測量業、 土地家屋調査士業向け スマートフォンアプリ登場!



待望のワンマン計測アプリが新登場!



現場測量アプリ【フィールドポケット】
FIELD-POCKET

FIELD-POCKETは、Android搭載のスマートフォンで動作する、測量・土地家屋調査士業向け観測アプリです。
交点計算、電子野帳観測、現況観測、縦断観測、横断観測、測設など、外業用途における機能を搭載。
弊社測量CADとの連動性に優れており、外業内業共に一連の測量業務を非常に効率化することができます。



福井コンピュータ株式会社

九州営業所／福岡市博多区博多駅東2-2-13 博多駅前ビル3F

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291

福井コンピュータ 検索

<https://const.fukuicompu.co.jp>

不動産登記申請書記載例集の決定版！



表示登記編
完結！

不動産登記の 書式と解説

第1巻 土地の表示に関する登記

第2巻 建物・区分建物の表示に関する登記

不動産登記実務研究会 著

【第1巻】 2021年11月刊 A5判 312頁 定価3,850円(本体3,500円)

【第2巻】 2022年3月刊 A5判 640頁(予定) 定価7,150円(本体6,500円)

- 昭和26年創刊以来ご愛顧いただき、令和3年2月に休刊となった加除式図書「現行登記総覧 不動産登記の書式と解説」を単行本としてリニューアル！
- 約70年の中で蓄積されてきた不動産登記の知識を、より丁寧に、分かりやすく解説、新たな情報も追加！
- 事例ごとに解説、申請書、添付書類、不動産登記記録例（平成28年6月8日法務省民二第386号民事局長通達）を収録！

読み解くために必要な知識を網羅した全129問



Q&A 詳解 土地台帳

表示登記・筆界特定・所有者調査のための知識

元横浜地方方法務局長、元都城公証人・都城市代表監査委員 新井克美 著

2022年1月刊 A5判 800頁 定価9,460円(本体8,600円)

地籍地図をマスターすれば、公図の理解がより深まる！



筆界特定のための 地籍編製地籍地図の 読み方と知識

前・鳴門公証役場公証人、元・松山地方方法務局長 大唐正秀 著

2021年5月刊 B5判 276頁 定価3,850円(本体3,500円)



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 www.kajo.co.jp

営業部 TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 X(旧Twitter):@nihonkajo

News!!

株式会社ビービーシーなら電子署名に

PDF編集ソフトは
不要です!

(Adobe Acrobat等)

表示登記申請システム

標準搭載! 追加料金は
かかりません。

2in1

b

b

c

2in1Win

PDF 電子署名ツール

Check!

主な機能

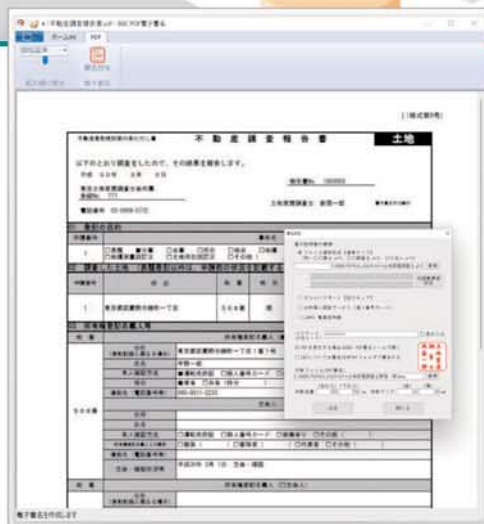
PDFファイルへの署名 (adbe.pkcs7.detached方式)

以下の証明書が電子署名に使用可能です

- p12ファイル形式
(司法書士、土地家屋調査士、商業登記電子証明書等)
- 公的個人認証サービス (マイナンバーカード)
- LGPKI職責証明書

複数のオンライン申請
添付ファイルへの一括署名
(表示登記申請システム)

署名済みPDFファイルの
署名検証及び署名属性表示



大好評ノ



CADシステム
に標準搭載!

地図データ
2in1 コンバーター

DXF、SIMA形式での取込が可能!

G空間情報センターの全国の登記所備付地図
のXMLデータを2in1で活用!



bbcinc cad

検索

期間限定キャンペーン実施中! 2025年3/31日まで

タイプA 地図データコンバーター	タイプB 地図データコンバーター	タイプC	タイプD	タイプE
表示登記 申請システム + CAD システム + 請求入金 システム 土地家屋調査士版	表示登記 申請システム + CAD システム	表示登記申請システム	表示登記 申請システム + 請求入金 システム 土地家屋調査士版	請求入金 システム 土地家屋調査士版
一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入
¥488,250 月額¥9,600	¥425,250 月額¥8,300	¥228,900 月額¥4,500	¥291,900 月額¥5,700	¥63,000

表記はすべてスタンダード版の価格です。ネットワーク版をご希望の場合は別途お問い合わせください。全て税抜価格となります。商品の機能や価格は予告なく変更する場合がございます。

株式会社ビービーシー

ビービーシー

検索

TEL. 03-5909-5772

東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 6階

東京
本社

大阪

名古屋

福岡

札幌

仙台

高松

広島



令和5年度
合格者428名中 **323名輩出!!**

一発合格者164名輩出!! (水増しは一切していません)

東京法経学院は土地家屋調査士
試験合格率 No.1の学校です。

自信をもって
オススメします。



通信教育 **土地家屋調査士**

改正法に
完全対応!!

新最短合格講座 2026

無料体験
受講受付中!!

MP4 映像ダウンロードタイプ

すべては“短期合格”が一番のテーマです。



内堀 クラス

レクチャー 内堀 博夫
本学院専任講師



山井 クラス

レクチャー 山井 由典
本学院専任講師

毎月1日開講!
入学随時!

注目!

東京法経学院は
ココがちがう!

8つのポイント

1

合格実績が違う!

他を圧倒した合格者を輩出
しています!

令和5年度土地家屋調査士試験
東京法経学院合格輩出実績

合格者428名中**323名輩出**

合格占有率**75.5%**

※詳しくは、HPにてご確認ください。

2

講師陣が違う!

担当の内堀専任講師をはじめ、
講師陣の層の厚さが半端ない!

真の講義力は、受講生の反応をリアルタイムで確認しながら進める対面授業(イン・パーソナル・クラス)によって身に付くものと考えておりますが、担当の内堀専任講師は対面授業時間が1万時間を超えております。本講座では、その対面授業で培った能力を十分に発揮していますので、安心して受講していただくことができます。近年合格した方を教壇に上げることはございません。

試験を知り尽くした講師陣が総力で、教材制作や答案講座等の問題作成にあたっています。試験傾向を徹底的に分析し、どのレベル、どの角度からの問題にも対応できる良質の問題作成に取り組んでいます。

3

テキスト・教材が違う!

入学しなければ入手できない、
講座専用完全オリジナル教材

本講座の学習に使用する教材の選択は、その後の進行のすべてを左右する大切な部分です。本学院では、受験指導校としての実績をもとに合格に必要な不可欠な知識を余すことなく網羅し発刊した、講座専用の完全オリジナル教材「合格ノート」と「記述式攻略ノート」を使用いたします。本教材は非売品ですので本講座に入学しなければ入手することはできません。また答案練習講座(答練)に進級した際に使用する解説書の【参照】欄には「合格ノート」の参照頁を記載しておりますので、復習の際のムダな時間を大幅にカットできるうえ、本試験直前の総まとめの場面においても、爆発的な威力を発揮する、まさに合格までのオールインワン教材となっております。

4

全コースに「過去問テキスト」がついてくる!
“平成年代”完全制覇! 昭和年代も
重要問題はセレクトして収録!

資格試験において、過去問学習は必須項目です。本学院の過去問集は昭和年代からの過去50年以上の過去問を、常に最新の法令に準拠させ、受験生の皆様にご提供しております。基礎力総合編にも含まれています。

5

もちろん、複素数にも対応しています!
複素数の修得は必須です!

土地家屋調査士試験は、まさに時間との勝負と言われる程、知識とテクニックが問われる試験といえます。複素数の修得はそれだけで有利になる計算テクニックなのです。

6

ダウンロード講義ファイルが扱いやすい!

(MP4ダウンロードタイプの方)

USBメモリ保存可能!

スマホタブレット等のオフライン視聴も可能!

本学院のダウンロード講義ファイルは、一度ダウンロードしていただければ、あとはオフラインで視聴いただけます。USBメモリに入れて別のパソコンでの視聴はもちろん、スマートフォン・タブレット等のモバイル端末でのオフライン視聴も可能ですからパケット量を気にすることもありません。しかも削除されない限り、受講期間終了後も視聴できるから安心です。もちろん、ストリーミング再生にも対応しております。

※ファイルのコピーは受講生ご本人様の使用に限り許可しており、それ以外の複製・転売は固くお断りしております。

7

充実した答練講座がちがう!(総合コースの方)

試験を知り尽くした講師陣炸裂!
的中率の高い新作予想問題!

過去問は最良の学習教材であります。がしかし、過去問が本試験に出題されることはありません。本学院の答案練習講座(答練講座)は試験を知り尽くした講師陣によって、徹底的に試験分析を行い、狙われるであろう論点を確実に網羅できるよう、すべて新作問題を出題しています。基礎力総合編の受講後は、答練講座をベースメーカーとすることで、毎日が本番をシミュレーションすることができ、自然と合格レベルに達することが可能となります。

8

学習方法等の悩みはオンラインでサクッと解決!

オンラインカウンセリングがあるから安心です!

「記述式の学習方法がわからない」「何から始めれば良いかわからない」などの不安やお悩みを本学院講師によるオンラインカウンセリングで解決します。PC・スマホ・タブレット等の各種端末に対応しております。

【完全予約制・月1回まで・15分/1回】

学費
(税込)

基礎力総合編+合格直結答練+ハイレベル答練 (MP4映像ダウンロードタイプ)

304,500円のところ

特別減免学費

258,825円※

※調査士会発行の推せん書が必要となります。

高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL
東京法経学院

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカビル1F

TEL 03 (6228) 1453 FAX 03 (3266) 8018

ホームページ <https://www.thg.co.jp>

Eメール info@thg.co.jp



点字印刷・帳票・パンフ・チラシ・自叙伝・会報誌

印刷物のバリアフリー化を目指して！ 昭英印刷点字印刷事業部

自費出版のお手伝い・本づくりならおまかせください！ 昭英出版

点字印刷物・自費出版についての、ご質問・ご相談はお気軽にお問合わせ下さい

SHOUEI PRINTING CO., LTD



昭英印刷有限公司

本社／工場 〒852-8117 長崎県長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231(代) FAX 095-847-7085
E:mail shouei@mx.b.cncm.ne.jp URL <http://www5.cncm.ne.jp/~shouei/>

令和 7 年 3 月 5 日 印刷
令和 7 年 3 月 5 日 発行
発行者 長崎市桜町7番6－101号
サンガーデン桜町1階
電話 (095)828－0009
長崎県土地家屋調査士会
会長 山口 賢 一
編集 広報部
印刷所 昭英印刷(有)